

「札幌市総合交通計画」とは

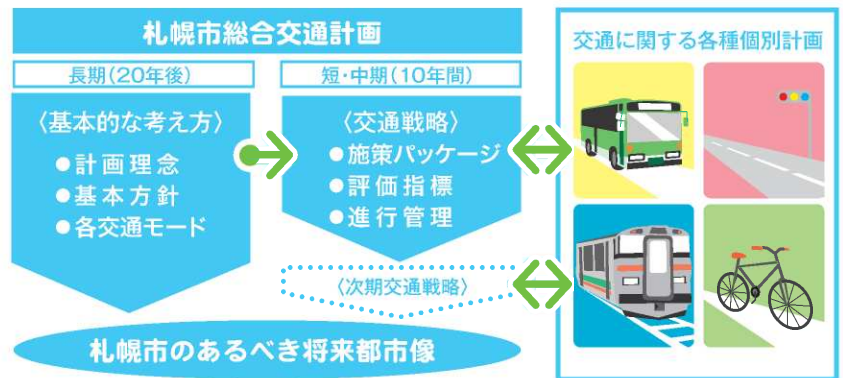
『成長から成熟へ』の転換期を迎え、より効果的・効率的な交通施策の展開が必要です。

これまでの札幌市は、人口増加と市街地の拡大に伴い、道路や地下鉄など交通網も拡大と充実が図られてきました。しかし、札幌市の人口増加は数年後にはピークを迎え、以後は人口減少と少子高齢化の進展が予測されており、さらには経済成長の鈍化および札幌市の財政状況、地球環境問題の深刻化などの様々な課題に直面しています。

このように、厳しい時代潮流の中にあっても、都市機能の持続的発展・成長を目指した『まちづくり』が求められていることから、各種まちづくり計画等と連携を図りながら、より効果的・効率的な交通施策の展開が必要となっています。

札幌市の交通に関する各種個別計画等の“指針”となる計画を策定します。

『札幌市総合交通計画』は、札幌市を取り巻く様々な課題に対応した将来交通計画であるとともに、より効果的・効率的に事業展開が図れるよう各種交通施策を体系化（パッケージ化）した総合的な都市交通計画であり、札幌市の交通に関する各種個別計画等の“指針”となる計画です。



計画の実現には、“市民・企業”と“交通事業者”の『連携・協力』が不可欠です。

計画の推進には行政機関だけではなく、交通の利用主体となる市民・企業や、交通サービスを提供する交通事業者の連携・協力が必要です。

これら各主体が、現状の課題や果たす役割について「共通認識」を持ち、目標を達成するために一緒に取り組んでいく必要があります。

